

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
全体指標「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童が79%と目標値には至らなかったが、「先生はあなたのよいところをほめてくれる」については、前年度よりも伸びた。引き続き、児童の自己肯定感や自己有用感を高めるような取組を実施していく。教育活動推進のための3つの重点については、どの項目についても85%以上の成果を上げることができた。「授業がわかる」と回答した児童が90%を超え、「桜岡スタイル」の授業実践が確立してきている。今後は、校内研究(指導の個別化)をさらに充実させていくことや教職員の業務改善について職員から意見を集約しながら、できることから進めていく。

2 学校教育目標
やさしく、かしく、たくましく 笑顔の花咲く 桜子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

3 本年度の重点目標
一人一人の教職員が、学校教育目標の実現に向けての意識を高く持ち、児童の「自己有用感」を高める取組を推進する。
《教育活動推進のための3つの重点》①教職員の協働意識・体制の向上(認め合い・支え合う職員集団) ②子どもが自ら学びたい授業作り、「生徒指導の三機能」の実践③子どもの困り感に寄り添う支援、やさしい子を育む指導の充実

4 重点取組内容・成果指標
(1) 共通評価項目
重点取組 中間評価 最終評価

Table with 10 columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 進捗度(評価), 進捗状況と見通し, 達成度(評価), 実施結果, 評価, 意見や提言, 主な担当者. Rows include: 学力の向上, 児童の基本的な学習習慣の育成, 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動, 心の教育, 運動習慣の改善や定着化, 健康・体づくり, 業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減, 特別支援教育の充実.

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 中間評価 最終評価
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 進捗度(評価) 進捗状況と見通し 達成度(評価) 実施結果 評価 意見や提言 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
教育活動推進のための3つの重点の①については、「授業がわかる」と回答した児童が90%を超え、「桜岡スタイル」での授業実践を達成できた教職員が85%を超えている。また、学校のいじめに対する取組については保護者から95%と肯定的な評価をいただいた。②については、人権集会、いのちの学習、人権教室などの人権学習を計画的に取り組むことができた。児童アンケートの「自分にはよいところがある」と回答した児童も82%となり目標値を達成することができた。③については、あらゆる教育活動において教職員が支え合いながら教育実践に取り組むことができた。ストレスチェックでは同僚性が高く、上司からの支援も多い職場であるとの結果が出た。このことがすべての実践の基盤となっている。今後は本校の教職員集団としての良さや教職員一人一人の強みを生かしながら、課題解決に向けて取組を進めていく。